

川端康成『雪国』を読み解く

— 近代小説の名作を鑑賞する —

講 師 = ^{カタヤマリン タロウ}片山倫太郎 (本学文学部教授)
時 間 = 13:00 ~ 14:30
受講定員 = 20 人
受講料 = 7,500 円

■ テキスト：プリントを配付します。

スケジュール

- ① 5月18日 (月) 川端康成の人と文学
- ② 5月25日 (月) 『雪国』を読むⅠ
- ③ 6月 1日 (月) 『雪国』を読むⅡ
- ④ 6月 8日 (月) 『雪国』を読むⅢ
- ⑤ 6月15日 (月) 『雪国』を読むⅣ
- ⑥ 6月22日 (月) 『雪国』を読むⅤ

講座内容

川端康成は半世紀以上にわたって第一線で活躍した作家であり、晩年にはノーベル文学賞を受賞しました。作品は今でも世界各国で読み継がれています。本講座では、代表作『雪国』をじっくりと読み、そして、解読していきたいと思えます。『雪国』の文学世界は、高度な技術と思想によって達成されています。したがって、読解することもなかなか容易ではありません。小説作品の細かな部分にもこだわりながら、その魅力を味わいたいと思えます。また、作家川端康成の人生にも光を当てたいと思えます。

講師プロフィール

東京大学大学院人文科学研究科博士課程中途退学。岡山大学文学部助教授を経て、現在、鶴見大学文学部教授。専攻は日本近代文学。